

発言No. 1

受付No. 6

令和2年11月 18日
11時40分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 11 番

氏名 飛 野 弘 二

答弁を求める者
(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 元気な中山間地域振興の仕組みづくり「パートⅡ」について

少子高齢化、過疎化の歯止めがかからない中、本来ならコミュニティが得意で取柄な地域だけに今回のコロナ禍で3密を避けるため、祭りをはじめ集落行事・イベントなどの自粛で一番大事な意志の疎通手段を分断された。いまこそ、元気な中山間地域振興の仕組みづくりに挑戦する待ったなしの状況と受け止めている。仕組みをつくることにより、引き続きこの素晴らしい中山間地域に今後も安心して住み続けることができるようにしなければならない。仕組みづくりの主役は、その地域に暮らし、今日まで豊かな自然を守り、伝統文化を継承し、そして、次の世代にこれを引き継いでいこうとする住民の皆さん一人一人である。そして行政はこの活動に参画し、仕組みづくりを積極的に進めていく必要がある。

(1) 100年に一度とも言われ、我々誰もが経験したことの無い世界を巻き込んだ新型コロナウイルスの感染拡大の早期終息を願う活動について

「コロナ」よ鎮まれ！今、「アマビエ」がSNSで話題沸騰中！肥後の国（熊本）の妖怪で豊作や疫病などに関する予言をしたと伝えられる。「アマビエ」のマスコットやグッズが飛ぶように売れているとの事。一方、浜田市でも秋祭りの奉納神楽が姿を消す中、有福神楽保存会が新型コロナウイルス早期鎮静化を願って疫病を退治する「鍾馗」などを自主的に奉納した。また、亀谷窯業は、コロナ禍の影響で難局に直面する企業の経営の一助になればと疫神（疫病）を退治する「神楽ぐい飲み鍾馗」を無料配布した。他市では、石見空港では鍾馗の衣装で搭乗客を出迎えた。美都温泉でも鍾馗衣装で客を出迎えた。出雲の直江一式飾り保存会も「鍾馗の一式飾り」新作展示した。などなど、報道は沢山ある。

- ① 浜田市において石見神楽という的を射たツールの活用状況を伺う。
- ② コロナ禍により地域の祭りやイベントなどの中止により活動の場を失った社中への新たな支援対策を伺う。
- ③ いまこそ浜田市は「日本遺産石見神楽」を日本はもとより、世界に発信するチャンスと責任があると思うが所見を伺う

(2) 農業の将来像を描く「集落戦略」の策定について

中山間地域等直接支払制度の5期目の対策に入った。6~10年後の農地を誰が耕作するかを記載した「集落戦略」がなければ満額の交付を受けられないようにした。高齢化が進む中山間地域で農業や集落を維持するための将来像を描くよう求めるのが狙いである。高齢化で解散するなど面積、協定数減少も大きい。特に、条件不利地の急傾斜地で顕著に表れている。担い手、後継者不足に加え事務作業や強いまとめ役の育成が急務である。また、解決の糸口は広域連携組織の立ち上げなどが考えられる。

- ① 浜田市において、今の「集落戦略」策定状況を伺う。
- ② 広域連携組織立ち上げ取組状況と課題を伺う。

(3) 特定地域づくり事業について

人口減少が激しい中山間地域の人手不足を解消するため、国が新たに設けた事業で海士町が全国初の認定を目指していて、年内にも事業化したいと報道があった。

- ① 浜田市もいち早くこの事業に取り組んでいるが改めて現在の検討状況を伺う。
- ② 対象事業者は第1次産業も視野に入れて検討すべきと考えるが所見を伺う。

発言No.

2

受付No.

15

令和2年11月19日

10時10分 受付

一般質問発言通告書

議席番号18番

氏名 道下文男

答弁を求める者
(○をつける)

市長

教育長

監査委員

選挙管理委員会委員長

農業委員会会長

固定資産評価審査委員会委員長

公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 「住みたい 住んでよかった 魅力いっぱい 元気な浜田」の推進について

(1) 人口減少を踏まえた地域活性の新戦略について

- ① 人口減少の急激な進行に新型コロナが追い打ちをかけており、地域コミュニティの崩壊を危惧する。市の現状認識を問う。
- ② 「公民館をまちづくりの拠点とする」という地域活性への新戦略の狙いを問う。

(2) 空き家対策について

- ① 空き家が右肩上がりに増え、まちづくりへの弊害を心配する。市の現状認識と対策を問う。

(3) 道路環境の整備について

- ① 市民に浜田市に何がしてほしいかと聞くと、道路や側溝の改修・整備要望が一丁目一番地である。市の現状認識を問う。
- ② 昨今の社会情勢の中、田んぼや畑、山などの荒廃が進み、隣接する住居や道路も劣悪な環境に陥っている。市の現状認識と対策を問う。

2 学校教育でのコロナ対策について

- ① 児童・生徒のコロナ感染が全国で発生している。浜田市での対応を問う。
- ② インフルエンザの流行期を控えての児童・生徒のコロナ感染対策を問う。

3 医療体制の充実について

- ① コロナ禍で病院経営が悪化し、医療体制の弱体化が危惧されていると聞く。市の現状認識と対策を問う。

4 水産業の振興について

- ① 基幹産業である漁業の活性へ、いち早い「国の漁船リース事業」の取り組みを望むが、現状認識と対策を問う。

発言No. 3

受付No. 4

令和 2 年 11 月 16 日
13 時 30 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 19 番

氏名 田畑 敬二

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

- 1 (仮称) まちづくりセンターと福祉バスについて
 - ① 社会福祉協議会が運行している福祉バスの台数を問う。
 - ② 次年度からの自治区別の福祉バス台数を問う。
 - ③ 台数減であれば、その理由を問う。
 - ④ 福祉バスは、まちづくりに欠くことのできない地域活動の基本であるとするが所見を伺う。
 - ⑤ 高齢化に伴い移動手段のない地域住民が地域活動を展開して地域の活性化を図るよう考えるが所見を伺う。
 - ⑥ まちづくり委員会は、防災・防犯部会、健康・福祉部会、環境・育成部会、生涯学習部会の四部会で構成されていると思います。どの部会も福祉バスは大変重要であるが、どのような認識か問う。
 - ⑦ (仮称) まちづくりセンターが、事業を展開し、大小の利益が生じた場合の考え方を問う。

一般質問発言通告書

議席番号 14 番

氏名 岡本 正友

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(口をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 平和教育推進の課題と地域事業及び社会体育の課題について

新型コロナウイルスが及ぼす地域社会への影響の課題2点について質す。

(1) 平和教育推進の課題について

本年は戦後75年の節目の年である。日本の平和と繁栄は、惨禍によって失われた多大な犠牲と、全国民が戦後復興のために、長年にわたり、血の滲むような努力の結果によって成し遂げられた。礎となった多くの尊い命が残した思いは、悲惨な戦争を繰り返さない戒めと恒久平和にあることは、語らずとも悟ることができる。この度コロナ禍で、令和2年度の戦没者追悼式が中止された。やむを得ない事情とはいえ、平和への思いをつなぐ遺族が高齢化により減少している最中での中断は、今後の語り継ぐ活動のさらなる後退が懸念される所である。

10月7日に浜田地区戦没者遺族連合会は、戦争の悲劇を伝える活動の苦悩と限界から“二度と戦争を起こさないための学校教育”を求める陳情がされている。広島平和記念資料館見学での平和学習は重要である。また、身近な地域史跡から史実を学ぶ事は、より未来の浜田市民の心に記録する意味深い平和学習であると考え以下質問をする。

- ① 明治維新以降の墓標や記念碑が市内には点在している。その認識と開府400年のくくりとしての歴史資料保全及び平和記念事業推進についての今後の対応を問う。
- ② 浜田地区戦没者遺族連合会からの陳情について所見を問う。

(2) 地域事業及び社会体育の課題について

新型コロナの影響から、盆踊りをはじめ町内集会など多くの地域事業が中止されている。また社会体育活動も全体的に自粛傾向にある。活動の後退を懸念することから、機構改革後の体制で補完できるか問うところである。

- ① 地域事業の中止等の現状認識と、解除・延伸の考え方を問う。

- ② 浜田市体育協会加盟団体の各種社会体育活動の現状認識と体制支援を問う。
- ③ 島根県は、2030年国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会において天皇杯・皇后杯を目指すため、県、全市町村、競技団体、企業のすべての県民一体となったプロジェクトを立ち上げ、10月2日に準備委員会をスタートしている。西部の中核市である浜田市の担う役割は大変重要である。
その認識と大会優勝を果たすための選手強化及び運営体制整備について問う。

2 地域医療体制支援とコロナ禍における孤独死予防策について

新型コロナウイルスは、少子高齢化社会の市民生活に多大な不安と動揺を与えているが医療の関係機関には、市民の不安を払拭するための防疫と救急救命の安全安心な管理体制を望むことから以下質問をする。

(1) 地域医療体制と支援策について

- ① 新型コロナウイルス感染者受入れ施設は、浜田医療センターと認識する。県西部の中核にあるセンターの発熱外来体制を尋ねる。
- ② 県は新聞の生活情報BOXなどを使って、発熱時には、かかりつけ医に相談をする新しい検査・受診の流れと相談窓口を示して周知を図っている。かかりつけ医等の現状と、外来体制の取組と支援策を問う。
- ③ コロナ禍における浜田消防の救急救命患者の搬送時の対応を問う。

(2) ウィズコロナ時代の孤独死の予防策について

- ① コロナ禍の自死を含めた孤独死増加の報道については、当市においても絵空事ではないと思っている。今後進むウィズコロナ時代の孤独死の対策について問う。

発言No. 5

受付No. 20

令和 2 年 11 月 19 日
10 時 42 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 8 番 氏名 小川 稔 宏

答弁を求める者 (市長) (教育長) 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. クマ被害防止対策の課題と支援制度について

今年はクマの餌となるドングリの不作が原因で、クマが人里まで下りてきている。クマ出没が急増し人的被害が心配されていたなか、井野町の方が被害に遭われた。市民の安全安心を確保しつつクマとも共存できる環境維持のために、耕作放棄地や放任果樹対策、緩衝地帯維持のための支援策の見直しが必要と考える。

(1) クマ被害に遭わないための有効な対策について

- ①目撃情報があった場合の住民への注意喚起と有効な対策の周知、並びに捕獲又は殺処分の方針について伺う。
- ②クマ対策に対応するための職員配置や人員体制について伺う。

(2) クマ対策に関する支援について

- ①電気柵、捕獲檻、猟友会への要請等にかかる経費の負担状況を伺う。
- ②中山間地等の民家のクマ被害防止対策への支援について伺う。

(3) 放任果樹対策について

- ①放任果樹の把握状況と対策の現状について伺う。
- ②収穫しきれない果樹の収穫ボランティア等の発想について伺う。

2. 核兵器禁止条約と平和教育について

核兵器禁止条約を批准した国・地域が本年7月に50に到達し、2021年1月22日に発効すれば核の使用だけでなく保有等も違法となる。広島・長崎に投下されて以降75年、核兵器は使用されていないが、世界には14,000発近い核兵器が存在し、危険性も指摘されている。次世代に平和の尊さを伝えるためにも平和教育が大切と考える。

(1) 核兵器禁止条約に対する市としてのメッセージについて

- ①核兵器廃絶平和都市宣言(H18.6.21)を制定し、平和首長会議にも加盟(H21年)する市としての取組について伺う。

(2) 被爆アオギリ2世植樹運動を通じた平和教育について

- ①被爆アオギリ2世の苗木を小中学校の校庭に年に1校ずつでも植樹してはどうか。

発言No.

6

受付No.

18

令和 2 年 11 月 19 日

10 時 29 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 17番

氏名 佐々木 豊治

答弁を求める者

市長

教育長

監査委員

選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長

固定資産評価審査委員会委員長

公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 公立幼稚園の統合計画について

今回、公立幼稚園の今後のあり方について、令和5年度から4園を1園に統合し、幼児教育の基幹施設として機能を集約するとの方針が示された。統合計画の保護者説明会で出された主な質問などをもとに伺う。

- ① これまで毎年、幼稚園 PTA として「幼稚園の存続」「預かり保育」「給食」など何度も要望されてきたようだが、どのような検討がなされてきたのか伺う。
- ② 今回の案を作る前に、保護者や関係者の意見を聞いてほしかったとの訴えもあったが、どのように意見を聞いてきたのか伺う。
- ③ 統合の前に、3園それぞれ園児を増やす取組が必要との意見もあった。そのため、統合する前から預かりや給食の取組を各園で始めてほしいという要望が出されたが、取り組まれるのか伺う。
- ④ 人数が減ってしまわないよう、3歳児の未就学園児が受け入れられるクラスができないかとの質問が出されたが、取り組まれるのか伺う。
- ⑤ 今後、市町村が幼児教育センターとしての役割を果たすことが求められ

ているが、大きな課題と感じているが、取組内容など所見を伺う。

2.旭ロータリーの公衆トイレ設置要望の扱いについて

①平成28年、旭支所前に旭ロータリーが整備された。

それまでの旧ロータリーには公衆トイレが設置されており、ここでバスを乗り継ぐ住民や、来られた方々が利用されていたようだ。

しかし、新たに整備されたロータリーには公衆トイレが設置されておらず、住民の方々などから設置のお願いや要望が出されていたようだが、設置されない理由について伺う。

3.水道水資源を守るための条例制定について

②前回の質問で、長見町に新たに設置が計画されている風車施設について、美川浄水場への影響が懸念されるため、水道水資源を守るための条例を制定するつもりはないかと質問した。

担当部長からは「条例制定に向け検討を始める」との答弁だったが、その後の進捗がどうなっているのか伺う。

発言No. 7

受付No. 5

令和2年11月18日

8時49分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 7番

氏名 串崎 利行

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 農業の振興について

(1) 畦畔等除草省力化促進事業について

① 高齢化と人手不足で、中山間地域では畦畔管理の困難さが増している。市の対策として、センチピードグラスの吹き付けに対して補助金を交付されているが、補助金額を伺う。

② 来年度以降の取組について伺う。

(2) 市道草刈り報償費について

① 中山間地域の市道等の維持管理は難しく感じ、報償費の単価について、3年前に一般質問し、ふるさと寄附を財源として増額していただいた。本年で3年を迎えるが状況を伺う。

② 市道草刈りについて、将来的には、どのような考えか伺う。

2 浜田応援団について

① 浜田市は、人口減少に対する施策として、今年度から推進体制を作られ、様々な施策に取り組んでおられる。雇用の確保や定住人口の拡大は非常に切迫した問題と認識している。浜田に思いを寄せ、「てご（お手伝い）」をしたい方の、現在の登録者数について伺う。

② 登録者の応援活動の内容について伺う。

③ 活動を地域へどうつなげていくのか、具体的な考えを伺う。

3 特定地域づくり事業について

- ① 人口急減地域の課題の解決のため、協同組合 Biz. Coop. はまだを設立され、人手不足の緩和を図る施策として非常に有効と感じている。事業概要について伺う。

- ② 今回は音楽を取り入れた活動であるが、将来的に他の分野、特に農業部門などで行うことについて、市の考えを伺う。